

平成18年1月24日
内閣府（防災担当）

中央防災会議
「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」（第17回）
議事概要について

1．専門調査会の概要

日時：平成18年1月23日（月）13:30～15:30

場所：虎ノ門パストラル 新館5階 「ミモザ」

出席者：溝上座長、阿部、新谷、伊藤、笠原、杉山、長谷川、山崎の各専門委員、榊内閣
府政策統括官他

2．議事概要

事務局より、被害想定、専門調査会報告（案）等について説明を行った後、各委員にご議論いただいた。委員からの意見等は以下のとおり。報告（案）の修正については、座長一任となった。

平成15年十勝沖地震により、苫小牧市において、実際にコンビナート火災が発生していることを踏まえ、長周期地震動対策を推進していくことが重要である。

津波地震について、どのような対策により、どれだけ死者数が軽減されるかを分かりやすく示すことは、防災対策を進めていく上で重要である。

津波による被害を軽減するためには、浸水する可能性のある地域における適切な土地利用について検討することは重要である。

被害想定 of 計算に用いたメッシュのサイズについて、揺れ・津波の各々について、地方公共団体が分かるように整理しておくこと。

津波の浸水深と死者率の関係について、より詳細に検討することは今後の課題である。

< 連絡・問い合わせ先 >

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 尾崎 友亮
同主査付 檜山 洋平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199